

市政に対する 一般質問

10名の議員が質問

2月定例会の一般質問は、
2月28日及び29日の2日間に
わたり行われました。

質問の要旨は次のとおりです。

四 竈 英 夫

小規模特認校制度の実施に伴う体制づくりと、課題について

吉 田 貞 子

教育環境の現況と課題、今後の条件整備について

水 落 孝 子

市税滞納者へのサービス制限について

山 田 裕 一

本市の行財政改革について

沼 倉 昭 仁

財政健全化法に伴う企業会計手法の導入・活用について

平 間 知 一

在宅療養支援について

佐 久 間 儀 郎

廃食用油の再生、有効活用について

沼 倉 啓 介

財政健全化法と本市の関わりについて

大 町 栄 信

企業誘致の促進について

保 科 惣 一 郎

刈田病院を中核にした地域医療の構築について

【公立刈田総合病院の表記について】
公立刈田総合病院については、【刈田病院】として表記しておりますので、あらかじめご了承下さい。

小規模特認校制度の実施に伴う体制 づくりと、課題について

四 竈 英 夫

【質問】小原小学校と中学校を小原地区以外の学区からも入学希望者を受け入れることのできる「小規模特認校」に指定されることになったが、指定校に至った経緯について伺いたい。

この制度を受け入れるにあたって、学校・保護者・児童生徒・地域の関係者との話し合いは行われたのか。

この制度をPRするためにはどのような施策がとられたのか。

そして、入学希望者が少なかった場合、将来的にこの学校をどのように運営していくと考えか伺いたい。

【答弁】【教育長】小規模特認校の指定を受けるにあたっては、少子化社会のなかで、長い伝統のある小原小・中学校を維持するとともに、複式学級の解消と、学力の向上につなげられないかとの願いのもとに、学区外の希望者も受け入れることとした。

決定にあたり、1年半ほど前から保護者・学校評議員、自治会長をはじめとして、地域の方々と話し合いをして、特に自治会の方々から、「全面的に支援する」との温かい

言葉をいただいている。

PRについては大河原管内の各小・中学校にチラシを配布し、「広報しろいし」2月号、そしてホームページ等にも掲載している。

現在のところまだ問い合わせはないが、特色ある教育活動を展開することが非常に大事である。

小原小・中学校のよさを知ってもらうには、ある程度の時間が必要だと考えており、将来的な学校運営についてはその推移を勘案しながら対応してまいりたい。



小原小・中学校